

議会報告会・意見交換会 を開催

市民の皆さんのご意見を生かします

市議会では、4月23日、24日の2日間、三田市役所6階委員会室において議会報告会・意見交換会を開催し、22名が参加されました。今回は、新型コロナウイルス感染症に配慮し、60分に時間短縮して行いました。当日は、議員がプロジェクターを使って、令和4年度予算の内容や審査内容、市民の皆さんから事前にいただいたご意見・ご提案について、議会としての見解を説明し、参加者の皆さんと意見交換を行いました。意見交換会でいただいたご意見のうち、一部をご紹介します。



4月23日(土) 午後2時～午後3時15分

【出席議員】(班長) 松岡信生 (副班長) 小杉崇浩
福田秀章、長尾明憲、肥後淳三、小山裕久、木村雅人

= 参加者 = 議員



三田駅前Cブロック地区

駅前のメインストリートと呼ばれるような街並みができるのか。

駅前通りに面した再開発事業では、ゆとりある歩行者空間の整備を進め、延長130m、幅30mのシンボル道路が完成する予定である。三田市既成市街地景観計画で三田駅前地区に個別基準を規定し、建築物が良好な街並み形成に資するように誘導し、賑わいづくりを推進したいと市当局より伺っている。

三田市民病院

三田市民病院の土地探しに関する調査業務を、補正予算として計上しなければならない緊急性の理由は。

令和4年1月17日開催の「市民病院あり方特別委員会」で、担当部局より急性期医療確保方策の方向性が示された報告を聞き、複数の議員から「事前にできることは速やかに取り組み、特に重要となる新病院の整備候補地などは先行して調査するべき」との意見を受け、市が補正予算を計上した。市内で条件が整った土地の状況を把握していない状態では、判断できないことから先行して整備候補地を調査したものである。

4月24日(日) 午前10時～午前11時

【出席議員】(班長) 佐貫尚子 (副班長) 大西雅子
今北義明、美藤和広、白井和弥、水元サユミ、林政徳

= 参加者 = 議員



有機農業

ドローンでの農薬散布は、強い農薬を散布するため周囲への影響も懸念される。同額の予算でたい肥場をつくるなど、有機農法の推進はできないか。また学校給食に有機野菜を取り入れることはできないか。

現在、ラジコンヘリでの農薬散布も周辺住民の同意は必要であり、風の強い日は実施しない。有機農法の推進について、JAS規格取得の書類も膨大であり、認定農家も4人と少ない。低農薬のひょうご安心ブランドの活用など今後取り組んでいく。また、学校給食での有機野菜取入れに関して、現状では有機農家が少なく学校給食への供給量的な問題があるが、栽培農家を増やす取り組みは必要。

子育て施策

今後の子育て世代の呼び込みのため、子ども手当の支給を三田市独自で行うなど子育て世代の転入促進について伺いたい。

子育て世代の転入促進として、フラワータウンへの支援を試験的に始めようとしており、空き家対策で子育て世代を呼び込みたい。また、こうみん未来塾は参加者も順調に伸びている。学びのまち三田として、子育て支援策は市全域に広めていくべきだと思う。

4月24日(日) 午後2時～午後3時

【出席議員】(班長) 檜田充 (副班長) 幸田安司
厚地弘行、森本政直、中田哲、井上昭吾、福田佳則

= 参加者 = 議員



街路樹

台風等自然災害時の倒木防止対策効果や維持管理費の大幅削減効果が期待できるため、フラワータウン・ウッドタウンの歩道樹木を3分の1に減らしてはどうか。

これまで議会からも同じ趣旨の質問や要望を当局に対して行っている。市は現在、街路樹の適量化と適正な維持管理を目的に「街路樹の適正な育成・管理に向けた基本方針」の策定を進め、議会としても市民とともに、適正な街路樹の維持管理のあり方を考えていきたい。

障害者への支援

同居人の補助に頼らずに自立したいため、健康管理に欠かせない音声式の血圧測定器や体重測定器について、日常生活用具の補助拡充ができないか。

個々の状況や課題により必要とされるものが多岐にわたり、種類も様々であり、その他の課題も含めて、実情をしっかりと見極め、当事者やサポートされる方各々の立場に立って、最適な支援策を考え市に適切な支援を要望していきたい。